

第3回 山国川緑地かわまちづくり検討会

日時：令和2年3月23日（月）午後7時～

場所：吉富町役場3階研修室

議 事 次 第

1. 開会
2. 挨拶（町長・山国川河川事務所長）
3. これまでのまとめ（総括）
4. 今後の予定・事業の方向性
5. その他
6. 閉会

山国川緑地かわまちづくり検討会 委員名簿

敬称略 順不同

No.	氏 名	備考1	備考2
1	釘崎 周二	有識者（応募者）	
2	吉田 清勝	有識者（応募者）	
3	向野 倍吉	商工会副会長	
4	山本 哲士	まちづくり会社代表	(株)ツクローネ吉富
5	山口 数彦	太陽の会会長	
6	梅津 常敏	太陽の会副会長	河川敷ボランティア世話役
7	小林 正尚	小学校校長	
8	花畑 寛典	中学校PTA会長	
9	梅津 光文	小学校PTA会長	スポーツ推進委員会副会長
10	鍋島 虔一	有識者	
11	恒成 正幸	有識者	
12	田中 哲	有識者	
13	林 孝俊	有識者	
14	恒成 達也	有識者	

【行政関係者】

国土交通省河川事務所：鹿毛所長、村田課長、橋本専門員

大分県中津土木事務所、中津市（観光推進課）

吉富町役場：花畑町長、守口総務課長、奥邨議会事務局長

赤尾産業建設課長、南係長

瀬口教務課長、梅林係長、和才上下水道課長、軍神係長

小原税務課長、永野住民課長、奥家会計課長、石丸健康福祉課長

（事務局）奥田企画財政課長、別府主幹、梅林主査



令和2年3月13日
国土交通省九州地方整備局

九州で新たに4箇所の「かわまちづくり」計画を登録しました！

～水辺の利活用を進め地域活性化の推進～

国土交通省では、水辺を活かして地域の賑わい創出を目指す取組”かわまちづくり”を推進するため、平成21年度に「かわまちづくり」支援制度を創設し、市町村等からの申請にもとづき計画の登録を行い、ハード・ソフト両面から支援を行っています。

令和2年3月13日付けで、「かわまちづくり支援制度」に係る計画について登録を行いました。

九州地方整備局管内では新たに4件が登録されましたのでお知らせいたします。別紙1

◇九州地方整備局管内における登録件数

○「かわまちづくり支援制度」新規登録箇所 以下4件

(新規登録4件を含め、九州管内のかわまちづくり登録件数は41件になります)

- ① 福岡県吉富町、上毛町、大分県中津市 (山国川下流地区かわまちづくり)・・・別紙2
- ② 熊本県人吉市 (球磨川・人吉地区かわまちづくり)・・・別紙3
- ③ 熊本県熊本市 (白川熊本市街部かわまちづくり)・・・別紙4
- ④ 福岡県うきは市 (大石かわまちづくり)・・・別紙5

参考：九州管内 「かわまちづくり」支援制度への登録箇所一覧
かわまちづくり支援制度の概要

《かわまちづくり HP : <http://www.mlit.go.jp/river/kankyo/main/kankyou/machizukuri/>》

◆問い合わせ先：九州地方整備局河川部 TEL092-471-6331 (代表)

河川環境課 課長 長岡 (内線 3651)、補佐 薄田 (内線 3652) 092-476-3525 (直通)

やまくにがわりゅうちく
「山国川下流地区かわまちづくり」(福岡県吉富町・上毛町、大分県中津市)
 よしとみまち こうげまち なかつし

別紙2

対象河川：一級河川 山国川水系山国川、中津川 【国管理河川】

市町村名：福岡県吉富町、福岡県上毛町、大分県中津市

推進主体：吉富町、上毛町、中津市



1. 概要

山国川流域の下流域には中津城等を中心とした城下町の風情が残る市街部が広がり、歴史、文化及び観光の豊富な資源を有している。福岡県吉富町、上毛町、大分県中津市の1市2町では、関係自治体が連携し、これらの資源を活用した広域的な観光振興とともに、新たな観光資源の創出やまちのにぎわいづくりに取り組んでいます。

この取組を充実させるため、本計画では、吉富町、上毛町、中津市の1市2町が交わる山国川下流域を対象に、親水性を考慮した水辺整備や、観光拠点などのまちなかのスポットをつなぐサイクリングネットワークを充実させることで周遊・回遊性を高め、地域の魅力の向上、観光振興の促進・地域活性化などを図ります。

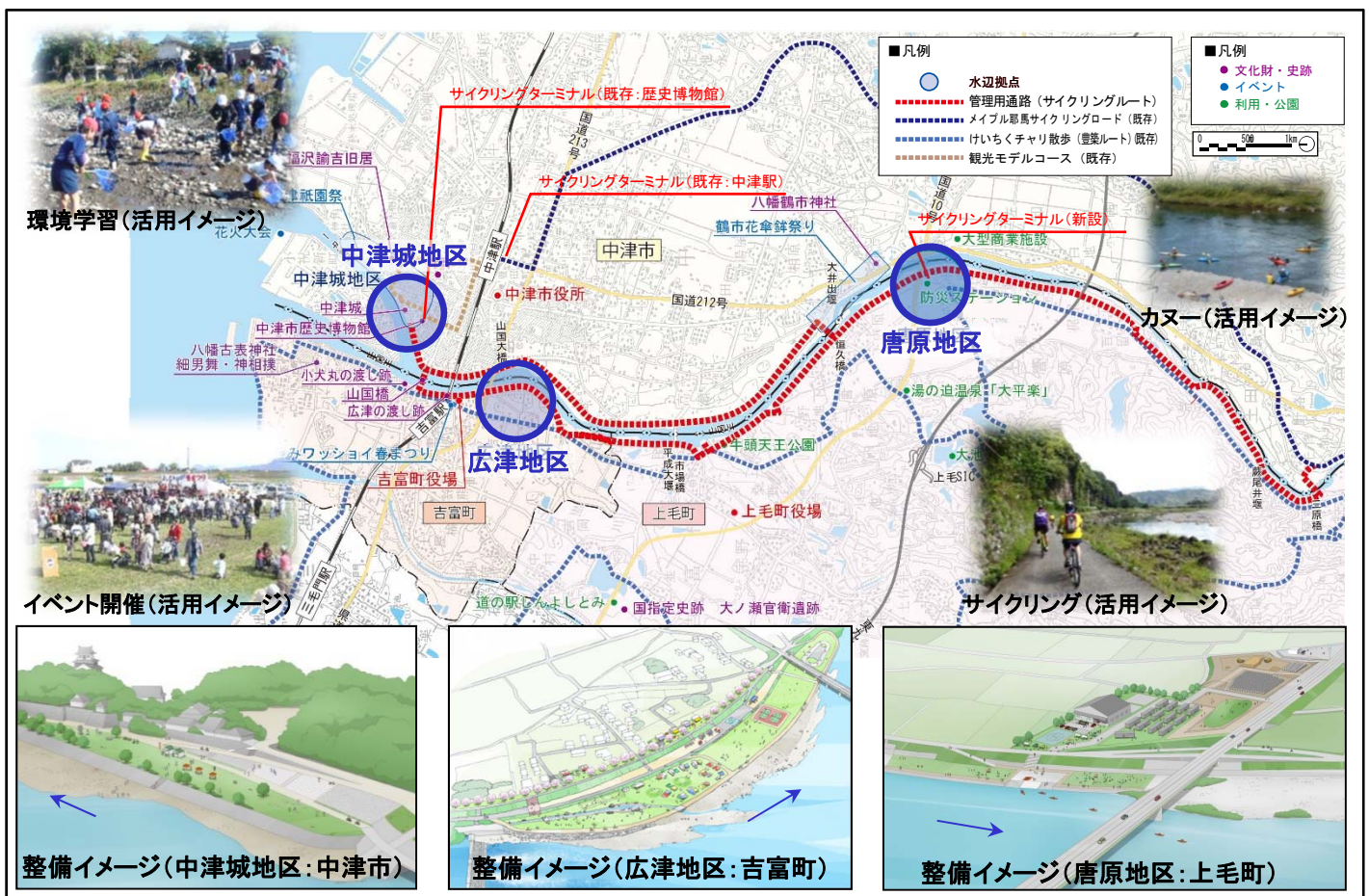
国土交通省では、この取組に対し、必要な河川管理施設の整備のほか、河川空間において営利活動を実施する場合には、河川敷地占用許可準則第22に基づく、都市・地域再生等利用区域の指定等の支援を実施していきます。

2. ハード整備の内容

国土交通省：河川管理用通路、親水護岸 等 吉富町、上毛町、中津市：案内看板、トイレ、東屋 等

3. ソフト施策の内容

国土交通省：都市・地域再生等利用区域の指定 等 吉富町、上毛町、中津市：情報発信 等



※今後、工事実施のための詳細な設計等を実施することにより、実施内容を変更する場合があります。

広津地区 整備イメージ (案①)



3. これまでのまとめ（総括）

はじめに「かわまちづくり事業」を行う理由は、第4次吉富町総合計画後期基本計画のアンケート結果であった「吉富町に住み続けたい理由」に沿った基本政策を計画し、反対に「吉富町に住み続けたくない理由」を解決する基本政策を計画し、その基本政策に沿った事業を行うためです。

「吉富町に住み続けたい理由」は、「自然など環境が良いから、生活・住環境の良さ」であり、これを推進する基本政策は「魅力的で美しいまちなみづくり、自然環境の維持」を行うことです。

反対に「吉富町に住み続けたくない理由」としてアンケート結果に挙げた「身近に余暇や生きがいを楽しむ場が少ない」であり、これを解決する基本政策は、「ふるさとへの誇り・愛着」を向上することです。この「ふるさとへの誇り・愛着」を向上するためには、地域間交流を促進するための「にぎわいの場」づくりを進める必要があります。他には「買い物など生活に不便」とアンケート結果があり、商業施設の充実を図る政策も求められています。

またこの「総合計画」を基に、地方が自立につながるよう自らが考え、責任をもって計画された「総合戦略」下位計画として位置づけられ、総合戦略の事業のひとつに、山国川「リバーサイド」交流プロジェクトが計画されています。事業内容は、川辺のウォーキング・サイクリング事業、健康づくり事業、環境保全を考える「川サミット」の開催などを、対岸の中津市と連携して行うことで、相互の住民交流を図り、交流人口の拡大を目指すことです。

これらの「総合計画」及び「総合戦略」に様々な事業が計画されていますが、「かわまちづくり事業」に関する事業内容は、自然環境の維持、社会体育施設の充実、健康推進施設の充実、人が集まる空間の創出、商業の活性化、新しい観光資源の創出、広域連携の充実などが挙げられます。

具体的に、第1回及び第2回開催の「山国川緑地かわまちづくり検討会」において、次のようなご意見が検討会として挙げられました。

「自然環境の維持」を行うために、「親水護岸」や「せせらぎ水路」を活用した環境学習機会を創出する。せせらぎ水路は水路の水深を浅くするなどし、山国川の増水時にも最小限の影響となるように整備する。

「社会体育施設及び健康推進施設の充実」として、サイクリングロードを活用したジョギング大会の開催やウォーキング大会の開催、また高齢者や車椅子の方にも優しい柔らかな遊歩道を設置し、健康を維持できる施設を整備する。遊歩道を設置する場合には、距離表示を併せて行うと効果的となる。

「人が集まる空間の創出」として、山国川緑地を常に綺麗にし、フットライトや街灯など安全面に配慮した整備を行う。また地域間交流を促進する行事として、凧揚げ大会、ドッチボール大会、スケッチ大会などを開催する。人が集まる空間に必要なユニバーサ

ルトイレや東屋の設置を堤内地側に盛土して整備し、洪水の影響を受けない施設とする。

「商業の活性化」として、キッチンカーの誘致や軽トラ市の開催、手ぶらでバーベキューできる事業を展開する。また下記の観光資源にも関連する内容として、3市町が連携し規模を拡大することや、収支を考えた継続できる事業展開とする必要がある。

「新しい観光資源の創出」として、桜並木、ドッグラン、菜の花・コスモスまつり、歴史を反映した渡し船、ホバークラフト、野外映画祭、リバーサイド音楽の夕べ、インスタ映えする施設、デートスポット、オートキャンプ場、スカイランタン、水辺で乾杯などの開催及び整備を行う。これらの事業も上記同様に維持管理の内容や収支計画を考え継続性のある事業とする。その為にも、例えば柗ツクローネ吉富が事業運営、維持管理するなどし、事業継続可能な仕組みを考える。その外に桜並木など堤体に関することは、用地買収や測量、設計、定規断面などが関係するため、来年度から具体的に検討する。桜の木も日本桜の会からの寄付及びボランティアによる定植などを活用し最少の経費で事業を行う。

「広域連携」として、上記イベント開催及び整備も広域で集客性を向上させると共に、サイクリングロードを活用した広域連携事業を検討する。

4. 今後の予定・事業の方向性

かわまちづくり事業は、国土交通省と町が山国川を活かした賑わいを創出するために実施される事業です。また令和2年3月13日に中津市・上毛町・吉富町の3市町からの申請による「かわまちづくり」計画が登録されました。これに基づき国土交通省は令和2年度に予算化、早ければ令和3年度から事業実施し、事業計画期間は5年間としています。町もかわまちづくり事業として、最小の予算で、最大の効果を図られる事業については、順に事業展開していく予定です。また本事業の担当部署につきましては、令和2年4月1日から機構改革に合わせた新たな担当部署で連携しながら、事業計画を策定していくこととなります。具体的な計画策定部署は、未来まちづくり課(まちづくり戦略係)となり、連携する部署は、建設課(建設係)、地域振興課(産業振興係・地域活性化係)、住民課(生活環境係)、子育て健康課(健康係)、教務課を予定しています。

今後とも随時、町民の皆様方には、事業の経過報告をさせていただきながら、ご意見を承りたいと思いますので、町の発展のためにご協力をお願いいたします。

資 料 集

第1回 山国川緑地かわまちづくり検討会

日時：令和元年12月23日 午後7時～

場所：吉富町役場3階研修室

議 事 次 第

1. 開会
2. 挨拶
3. 検討会委員名簿
4. 議事
 - (1) かわまちづくり支援制度の概要
 - (2) 山国川下流地区かわまちづくり計画について
 - (3) ワークショップ形式による意見交換
5. 今後の予定
6. 閉会

山国川緑地かわまちづくり検討会委員名簿

敬称略 順不同

人 数	氏 名	備 考
1	釘崎 周二	有識者（応募者）
2	吉田 清勝	有識者（応募者）
3	向野 倍吉	商工会副会長
4	山本 哲士	まちづくり会社代表就任予定者
5	山口 数彦	太陽の会会長
6	梅津 常敏	太陽の会副会長(河川敷ボランティア世話役)
7	中村 裕司	小学校教頭
8	花畑 寛典	中学校PTA会長
9	梅津 光文	小学校PTA会長、スポーツ推進委員会副会長
10	鍋島 虔一	有識者
11	恒成 正幸	有識者
12	田中 哲	有識者
13	林 孝俊	有識者
14	恒成 達也	有識者

【行政関係者】

国土交通省山国川河川事務所：村田課長、橋本専門員

吉富町役場：花畑町長、守口総務課長、奥田企画財政課長、別府主幹、梅林主査、
小原税務課長、永野住民課長、石丸健康福祉課長、赤尾産業建設課長、南係長、
奥家会計課長、瀬口教務課長、梅林係長、和才上下水道課長、軍神係長、
大分県中津土木事務所、中津市（観光推進課）

【その他】

国土交通省かわまちづくり計画受託コンサルタント2名

第1回 山国川緑地かわまちづくり検討会 議事録

・(町)子供が楽しめる

・(町)スクリーン映画

・駐車場は？

→(国)高水敷に駐車場を設置可能。また計画は変更可能

・大雨対策、豪雨時に浸水する。すぐ回復し得る施設はどういったもの？佐井川に県が遊歩道を整備したが、洪水後に使用しづらくなった。

→(町)それを今から考える。

→(国)ドッグランをネット取り外し可能、支柱を稼動式、トイレも稼動式

→(町)堤防の裏側にトイレや東屋を設置すると、洪水の影響を受けない

・毎年水害が起こる。テニスコートは洪水時にネットを外していた。

・堤防の管理道路に距離表示を行い、散歩する人に活用されている。毎年水害がある。H31の8/28ヘリポートまで、H30の7/6、H29の7/9、H28の6/22、復旧や廃棄物の管理をどうするか。広津上自治会では管理できない。構想としては良いと思う。

・ヘリポート、ミニ水族館、トイレを併用した施設がいいが、予算はどうか

→(国)国と町ができる範囲があるので、国は基盤や河川管理に必要な整備しかできない。その他は町の整備となる。国は親水護岸やサイクリングロード、町がドッグランや桜並木等を行う。

→(町)国要望を行ってきた。できる限りの援助をしたい。今からの折衝になる。最少の経費で最大の効果を。桜の木もみなさんが持ち寄ったものでいい。経費を最少で効果の大きいものを皆さんのアイデアを出してほしい。

→(町)堤防の裏を町が土地を譲っていただき、下水道工事等の残土で埋戻し、最小の経費で工事する。

・国の補助や支援が見えてない。町の財政を圧迫しないように。現状を悪くすることはできないのでは？堤防に桜並木は了承されるのか？例えば堤防を強化する意味で表法面に階段状のスタンドを国の費用で設置できないか？事業認可と整備に要する計画はどうなっているか？

→(国)国は事業認可をとれば、事業計画を5年間、令和2年に予算化、早ければ令和3年から事業実施、サイクリングロードと1市2町の事業計画している。町は補助があるか、どうかで事業スピードが変わるのでは、実験的に整備を行う必要があるのでは。

→(国)先ほど阻害率の話もあったが、今の堤防の中に異物が入るのは許可できない。堤防の定規断面があり、川の中の計画流量に対する堤防の幅が決まっている。その裏に土を盛って土を乗せることは可能。定規断面外であれば、可能。今パースがあるが、測量を行って、必要な幅、用地買収や、構造上問題ないかを設計の中で、進める。まずは何がしたいかを決める必要がある。それからできる方法を検討する。

・桜並木は令和3年からできるか

→(国)可能であるが、測量して、どの程度の幅があるか、確認し、協議する必要がある。河道掘削して、盛土することも可能。

→(町)町の持ち出しがいくらかが関心あるので、ソフト事業を行い、有識者のご意見をいただきながらハード事業を行いたい。中津市、上毛町、国、県の広域でソフト事業を行いたい。山国川の良さを再発見できるような事業を行いたい。せせらぎ水路やドッグランなどが増水時にも影響が最小限のものを考えている。水路を浅く、消防で早期に復旧できるものを考えている。国のミズベリング事業に水辺で乾杯がある。昨年255箇所、七夕の前後に、ワークショップに参加している人が、ツマミを持ち寄り川の良さを語り、最後にスカイランタンなどのイベントを行い、全国発信を行いたい。町の予算を使わず、寄付を募り、みなさんの熱を伝えることが重要と考える。

・議事(1)かわまちづくり支援制度の概要(2)山国川下流地区かわまちづくり計画について(3)ワークショップ形式による意見交換が同時に行われているようで、(1)で国交省から説明があった。(2)で令和3年から事業開始となる説明だが、全体的なスケジュールの説明があった方がよい。今回は検討会の意見をまとめるとかのゴールがあれば、何回かの会議において、具体的なステップを踏んでいきやすい。

→(町)全体で3回の会議を予定している。次回は全体のスケジュールを示したい。今日は自由な意見を出していただきたい。

・安全面が心配、整備は誰がするか。学校の規則として川に行かないとある。安全面としてどうするか。表彰で店舗の例があったが、観光や、町の収入になるようなアイディはあったか。

→(町)東屋があるが、盛土したところにチャレンジショップを誘致したい。計画策定し店舗も展開できる事業となっている。フットライトもあるので、安全面に配慮している。防犯面も効力がある。高水敷にはキッチンカーを配置することも可能。学校が国交省の平成大堰にいつているが、親水学習を山国川の親水護岸で安全に降りることも可能。安全面で川に近づかないをどの程度言っているのか

・学校が引率する場合は良いが、土日に自由に行って良いというのは心配

→(町)川に親しむという事業。子供のころは、山国川満潮の時に吉富側の土手から小祝へ渡って始めて男と認められた時代だった。今はそういう時代になってしまった。難しい。川に親しむことが大切だと思う。夏場に土手で夕涼みをするのはいい場所。これに限るわけではない、これはあくまで、絵であって、これに皆さんの夢や希望を入れてほしい。これば絵空事に終わらないように。お金も最小限度も町の持ち出しにしていきたい。地域の県議員や地域選出の代議員もいるので、その方とゆっくり話をしていって、みなさんと頑張っていきたい。

・3市町の連携で成り立つもの、そうでなければ、集客もできない。するのは3市町合同の長く持続できる事業を考えるべき。吉富町単独事業は事業の継続性が難しい。特に観光課の

方もいるので、連携すべき

→(国)既存または高水敷に新たにつくる管理用通路を活用したサイクリングロードを整備し、散策も可能の説明を行う。堤防の上を通過して、旧耶馬溪鉄道のメイプルサイクリングロードにつながる構想もある。山国川をとおして、上流から下流まで行き来できるようになる。サイクリングターミナルは、中津市の歴史博物館や上毛町が新規に整備予定となっている。各自治体でも相互通行できるようになるので、連携できる。

→(町)全長往復で 80km のサイクリングロードとなるので、全国発信したい。

- ・ 3市町が回遊できるコンセプトが価値のある事業となる。

- ・ ローラースケート場を車椅子の散歩コースとする。入れない。使えない。隣町の大貞公園の遊歩道が 500m 程度あり、距離表示があり、フラットで、土日は運動をしている。これが吉富にできるといい。車椅子でも寄り付きのいい距離表示のあるフラットの遊歩道が欲しい。

- ・ 自然災害が心配となる。復旧が必要。2ページに山形県の最上川、広島のと田川 19 号の影響があったが、どういう復旧の仕方をしているか参考になると思う。東京の多摩川は頻繁につかるが、ランドも普及している。どのような管理を行っているか。

- ・ 健康になりたい人が来ている。ウォーキングをしたり、健康な人はどこにでも行けるが、健康になりたい人が来ている。夜明け頃は多い、9時から10時はもういない。健康を維持したい人が来ている。そのためには何が必要か考える。

- ・ 桜並木が堤防の天端にあるが、堤防裏に盛土して定植するか。

→(町)用地が購入できた箇所に盛り土をした部分に定植する。

- ・ 花も考えて、桜は根を張る。消毒も大変。桜でなくても良いのでは。

- ・ 盛土して、堤防の強いところと弱いところがあると、千曲川の決壊のようにならないように。想定外の降雨があったときに怖い。堤防が太い、細いところがあると、細いことから決壊しないか。

→(国)流量に必要な断面を確保することが重要である。なかには必要な断面があったうえで、裏に盛土がある。側帯として有事のときに決壊した場合は、側帯の土を利用する。まだ必要断面を確保してないため、必要な断面を盛土して、それ以上の断面は備蓄用の土砂として、おいている。場所によっては、がちがちに護岸で固めているところもあるし、背後が高ければ高低差がないところもあります。

- ・ 河床の浚渫をしないのか

→(国)将来的には計画しているところもある。基本的には堤防のないところや、河道の狭いところは退くというのが先になり、目標の流量が足りない場合は、河道浚渫する。部分的に掘削する場合もあるが、上流からくる流量を考慮し、断面を確保している。

- ・ 健常者だけでなく、身体障がい者も使える施設整備を行うように。子供は学校が引率すればよい。天仲寺山では、東デイサービスに通所している人は、介護士と一緒に散歩している。山国川緑地も色々な方が利用できると良い。

・天仲寺公園にユニバーサルトイレがあるが、御山会が週2, 3回清掃している。特に人工肛門の方が中津市からも来られて利用されている。今のトイレは堤内地側に設置するのであれば、ユニバーサルトイレを整備して欲しい。高水敷にはトイレは整備しないように。

・管理をどこが責任をもって行うか。天仲寺山は御山会が行っているが、高齢化している。しかし若い方や役場の方は入会しない。後は広津上自治会にお願いしますとなると、住民は反対すると思う。

・予算抜きでいくと、災害関係を考慮し、今の現状を考える。工作物は洪水がきても影響のないもの。キャンプ場もオートキャンプ場の方がよい。デートコース、スポットなるように、面白自転車や中津市や上毛町まで足がのぼせるように。川の浚渫で一部分を深く掘って河川プール、貸しボート、3市町の連携ホバークラフト(4人乗りで600万円)、水陸両用で山国川の浅瀬をいけるのは向いている。災害時に救護に活用できる。始発が吉富漁港から上毛まで、中津城の下まで周遊コースをつくり、3市町で観光資源とする。ふるさと納税の特典とする。イベント広場ステージとする。ノースFMのステージをつくる。

→(町)まだ維持管理まで考慮してないので、今後考えていく。

・まちづくり会社予定の山本氏がいるので、この規模はボランティアに頼るとできないので、会社がする必要がある。見回りも必要、子供の監視など、色々な管理し、利益を上げること、維持管理の収支を考えた事業とすること。

→(町)まちづくり会社が維持管理することも含めて検討したい。

・ソフト事業でいうと意識づけが必要、まず綺麗にする、安全、夜は怖くない場所であること。しっかり管理ができることが第1。そうするとジョギングやウォーキングする人が集う。そのために遊歩道がある。足元が明るい。早朝にもジョギングができる。ここは、綺麗にしなければならぬ場所ですよという意識づけ、ウォーキングイベントを啓蒙する。そこから必要なハード整備する。常設の民間の業者を置くことは可能か。

→(国)可能です。

・民間業者が入って、テナントを貸す、自由市場や朝市をする。

→(国)信濃川ではキャンプ場やバーベキューの運営にスノーピークが入って運営している。別のところで、カヌーを指定管理で入っている場合もある。町との委託契約や色々な形態がある。

・緑地は綺麗に整備された芝生が良い。甲子園と同じ芝生を使用している。これでも集客可能と思う。

・芝は競馬場のような芝でないと維持管理が大変と思う。

・インスタ映えすることを入れて欲しい。全国から集客できるようなもの。

・有意義な会議とするため宿題が欲しい

・日程調整は早めに連絡するように

第2回 山国川緑地かわまちづくり検討会

日時：令和2年2月4日（火） 午後7時～

場所：吉富町役場3皆研修室

議 事 次 第

1. 開会

2. 挨拶

3. 議事

(1) 山国川緑地における利活用について（ソフト事業：イベント・催し）

(2) その他

4. 今後の予定

5. 閉会

第2回 山国川緑地かわまちづくり検討会 要約書

山国川緑地における利活用について（ソフト事業：イベント・催し）

・渡し船

小犬丸、広津の2か所

中津城と小笠原墓前を結ぶ

6年生が歴史学習体験

・桜並木

屋台や地域の果物を出店

バードウォッチング（日本野鳥の会）

福岡県で一番初めに朝日があたる

仙人鍋

品種改良された桜、根張り出し、害虫なし

費用をかけない

・軽トラ販売

多世代

・ランチサービス

常設サテライトによるランチ

・遊覧船

満潮時は中津城巡り、通常は上毛町の堰まで

・ホバークラフトでの周遊観光

・昔の貸しボートの復活

・恋人プロポーズ大作戦

山国川を挟んでプロポーズ

・デートスポット

・バーベキュー大会

バーベキューセットと食材を有料提供

家族の集う姿が橋の上から町のPR

・夕方映写会

野外映画祭

・グランドゴルフ

競技面積の基準？

様々な標準コースがある

グラウンドのコンディションが課題

・菜の花

迷路にする、出水期にも対応

直方がチューリップ、コスモス

子供が種まきからイベント参加

・リバーサイドテラス

川べりにサイド付き椅子

・キッチンカー

・親子大会

凧あげ、魚釣り、ドッチボール、スケッチ

・リバーサイド音楽の夕べ

・朝起き会、夕方会

・水中花火大会

山国川上流から河口にかけて実施する

青果市場付近で花火大会があった

継続したイベントへ

・緑地公園のスペースの提供

・せせらぎ水路

芝生の広場を整備して提供する
バーベキュー大会の実績あり
遊歩道を散歩
現状は歩きにくい、足にやさしい素材
・民間主導型
そうしないと長続きしない

・FM放送連携

・イベントホール

・県境綱引き

継続したイベントへ

・堤防道路にウォーキング目安表示

散歩コース、ジョギング

・バリアフリーのトイレ

・多目的トイレ

・バリアフリー道路

・毎朝ラジオ体操の放送

・ドッグラン

復旧可能な柵を設置

・スライランタン

台湾、LED、願い事を1基千円で販売

・駅伝大会

人集めが地域のつながり、交流人口増

子供が喜ぶ、4年生環境学習

三区画に分けて、浄化する

蛸・祭り、ビオトープ、浅瀬で子供遊ぶ

メダカ、シジミ（浄化から販売まで）

・夜なべ談義によるアイデアの創出
憩いの場

・オートキャンプ場

キャンプ用品メーカーとコラボイベント

普段子供は火を使用しない

ネットで広く募集

・JRと共同イベント

新観光列車、中津が停車駅

・自然と歴史が残る町

天仲寺、俳句、小笠原、中津と結ぶ

・現在河川敷少ない

・ダーツ大会

様々な方が参加可能（日本障がい者ダーツ連盟）

・

・橋脚を利用したボルタリング（山岳連盟福岡県）

ケガをしない高さ

用を足すのを防止、環境改善

・春まつり

費用がかかる

・列車の写真がはいる町

河川敷からの景観、インスタ映え

・中津、吉富、上毛でサイクリングロードを活用